

コラム

「初夢を正夢に変える事業計画」

2019年1月1日
主任講師・コンサルタント
山田 豊文

縁起の良い初夢

初夢とは一般的に新年を迎えてから見る夢のことであり、元旦に見る夢のことだけではありません。縁起の良い初夢を見ると、新しい年を良い年にしていきたいという意欲が高まります。縁起の良い初夢は「一富士、二鷹、三茄子」といわれています。初夢として最も縁起が良いとされているのが富士山であり、二番目が鳥の鷹であり、三番目が野菜のナスビという順番です。

「一富士、二鷹、三茄子」は江戸時代の富士信仰の拠点であった駒込富士神社に由来しています。一番縁起が良いとされる富士は神社の名前そのものです。二番目の鷹は駒込富士神社の周辺に鷹匠屋敷が多かったためであり、駒込茄子が江戸時代は名産物であったために三番目に入っています。また語呂合わせになりますが、富士は無事であること、鷹は高めること、茄子は事を成すことに結びついているために縁起が良いとされています。今年は特に無事であることが重視されることになりそうです。昨年末に一年の世相を表す漢字に「災」が選ばれました。今年一年は「災」（わざわい）を避けて良い年にするのが期待されます。

正夢として実現するための事業計画

企業や組織、あるいは経営者や組織の責任者にとっては、縁起の良い初夢をただの願望にとどめるのではなく、正夢として実現することが期待されます。縁起の良い初夢の3つの要素、無事であること、高めること、事を成すことは、すべての企業や組織にとっては正夢として実現させたい事項です。正夢として実現するために必要となるのが事業計画です。3つの要素の具体例には、無事であることはリスクマネジメントに取り組むこと、高めることは売上や利益といった業績を向上させること、事を成すことは重要なプロジェクトを成功に導くことがあります。重要なプロジェクトの対象テーマの例にはBCP（事業継続計画）や新規事業開発などがあり、リスクマネジメントと業績向上の両方に結びつけることができます。つまり事業計画の立案と実行を通じてリスクマネジメントに取り組みつつ、業績を向上させ、重要なプロジェクトを成功に導くことが期待されます。

リスクマネジメントに取り組むには基本計画の立案、計画の実行、進捗状況の把握、計画と進捗の差異是正の4つの段階に分けて進めることが必要です。出発点である基本計画の中心は重要なリスクを回避するための方策になります。そのため事業計画を立案する段階にリスクを回避するための方策を計画に組み入れることが必要です。さらに業績向上策と重要なプロジェクトの計画も事業計画に組み入れることで、縁起の良い初夢を正夢として実現するための布石にすることができます。

SWOT分析を通じた事業計画への組み入れ

リスクマネジメントへの取り組み、業績の向上、BCPや新事業開発などの重要なプロジェクトの成功を事業計画に組み入れるにはSWOT分析が効果的です。SWOT分析とは自社や自組織の経営資源と外部環境を分析することで、強み、弱み、機会、脅威を明確にして対策を準備するためのノウハウです。強みとは経営資源におけるプラスの要素であり、弱みは経営資源におけるマイナスの要素です。また機会は外部環境におけるプラスの要素であり、脅威は外部環境のマイナス要素です。

リスクを回避するための方策などのリスクマネジメントの基本計画は弱みと脅威の克服、業績向上策は強みの発揮や機会の開発、重要なプロジェクトの成功は脅威の克服や機会の開発として位置づけることができます。SWOT分析を通じてリスクマネジメントの基本計画、業績向上策、重要なプロジェクトの計画の位置づけを明確にした上で事業計画に組み入れることが必要です。

例年、年明けから3月にかけて、多くの企業や組織が新しい事業年度に向けての事業計画を立案する時期になります。SWOT分析を通じて、リスクマネジメントへの取り組みなどを事業計画に組み入れることで、縁起の良い初夢を正夢として実現して下さい。

以上